

「東京国際空港他1空港消防等業務」に係る  
民間競争入札の事業開始時期の9カ月前倒しについて

令和5年9月29日

国土交通省 航空局 航空ネットワーク部  
空港技術課 空港保安防災企画室

## 1. 概要

国土交通省東京航空局では、東京国際空港、新潟空港およびそれらの空港周辺において航空機事故、航空機火災が発生した場合における消火救難活動・救急医療活動を事業者へ委託している。

本業務は、従前の調達において一者応札が継続し、競争性の確保に課題があったことから平成31年度から市場化テストを開始し、令和3年5月事業評価を経て、現在は2期目（履行期間：令和4年4月1日から令和7年3月31日）を実施している。

### 市場化テストの実施状況

件名	H31d	R2d	R3d	R4d	R5d	R6d
東京国際空港他1空港消防等業務	第1期			第2期		

## 2. 事業開始時期を前倒しする必要性

### (1) アンケート調査

第2期入札前の業務説明会のタイミングで、全国の各空港で消防業務を実施する事業者へアンケート調査（依頼事業者数：42社 回答数：27社）を実施し、金額以外で受注困難となる理由を尋ねたところ、業務開始までに必要となる職員の育成が困難との回答があった。

また、そのアンケートにおいて、「受注可能である」と回答したが、入札に参加しなかった2社に対して、仕様条件や入札条件がどのように変更されたら入札に参加するかを追加で尋ねたところ、契約期間内に職員を育成できる仕様内容にできないかと回答があった。

### (2) 東京国際空港の消火救難体制の強化

東京国際空港において、令和7年度から化学消防車を順次増加させ消火救難体制の強化を行うこととしている。そのため増加する化学消防車のオペレーター等の要員が大幅に増員となってくる。

化学消防車配置計画

	現在	R7.4 ～	R8.4 ～	R9.4 ～	最終増数
化学消防車	4台	6台	7台	8台	+4台
	8ポスト	12ポスト	14ポスト	16ポスト	+8ポスト



化学消防車

以上のことから、請負事業者がその必要な要員を準備し、育成する期間を設けるために、次期契約にかかる入札を例年のスケジュールより前倒し、令和6年度（7月を目途）に4ヶ年契約を締結することとしたい。

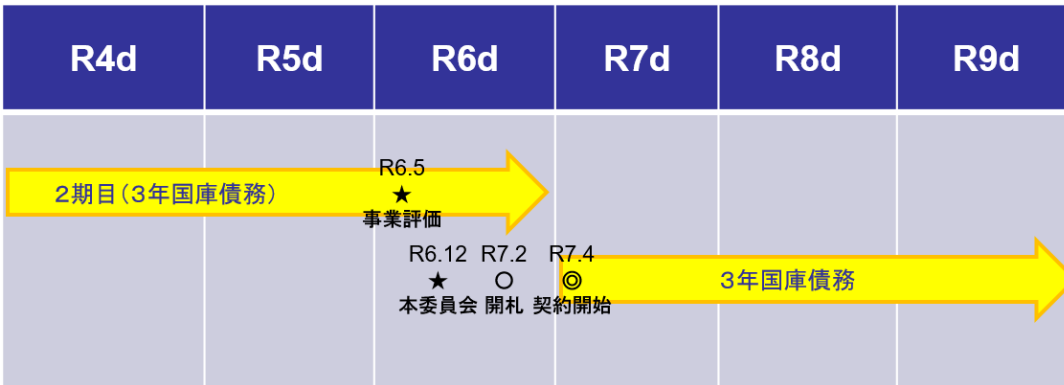
（令和6年度（1年目）は準備期間であり、実質的な業務を伴わないことから歳出額は0円とし、いわゆるゼロ国債（ゼロコク）とする。）

### 3. 前倒しに係るスケジュール等

#### 【当初予定】

(契約期間) 令和7年4月から令和10年3月までの3年間  
(スケジュール)

- 令和6年5月 入札監理小委員会 (2期目にかかる事業評価)
- 10月 パブリックコメント (2週間)
- 11月 入札監理小委員会 (実施要項案の審議)
- 12月 官民競争入札等監理委員会 (本委員会)
- 12～2月 入札公告 (公告期間2か月)
- 令和7年2月 開札 ⇒ 落札者の暴力団排除確認手続
- 4月 契約開始



#### 【変更予定】

(契約期間) 令和6年7月から令和10年3月までの3年9カ月間  
(スケジュール)

- 令和5年10月 パブリックコメント (2週間)
- 11月 入札監理小委員会 (実施要項案の審議)
- 12月 官民競争入札等監理委員会 (本委員会)
- 12～3月 入札公告 (公告期間3か月)
- 令和6年3月 開札 ⇒ 落札者の暴力団排除確認手続
- 5月 入札監理小委員会 (2期目にかかる事業評価)
- 7月 契約開始

